

<学校教育目標> 自ら考え、主体的に判断し、行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

め の と



12月 師走
年末 号

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和4年12月22日 文責 校長：松田伊知郎

<めざす児童像>

- ① あてを立ててすすんで学ぶ子
- ② そみをもってたくましく生きる子
- ③ もだちとみがきあう思いやりのある子

あと1週間ほどで今年も終わります。「壬寅（みずのえとら）」はかなり運気がよい年だったはずですが、それぞれにとっての今年はいかがだったでしょうか。京都 清水寺の「今年の一文字」は『戦』となり、殺伐とした印象が強かったのかもしれませんが、既に終了したサッカーW杯や年末年始に行われる高校生や一般の方々が繰り広げる様々なイベントをはじめとする「熱『戦』」によって、いい気分での締めくくりをしたいものです。

～ 改善を図ってよい締めくくりを!! ～

第2学期も9か月を終えようとしています。今の学年も、残すところ四分の一となります。学期末でも年末でもあるこの時期に、それぞれが振り返りをし、しっかりと締めくくりをして次のステップへの改善策を練っていきたいと思います。

1年生の学習の様子の評価は、1学期の2段階から3段階へと変わっています。見方に御留意ください。

☆通知表を通して、学校から家庭へ

それぞれの子が自分の目標をもち、その子なりの努力をしながら頑張った2学期でした。頑張ったところを十分に褒めて、「笑顔」で迎える健康で安全な年末年始にしてほしいと願っています。その「褒める」ため、また「次の目標」のため、客観的資料や担任等の思いを綴ったものが通知表です。結果に一喜一憂する気持ちも分からないではありませんが、重要なのは結果だけではなく、そこに至るまでの子供の姿や思いです。それを間近で見てきた担任の思いを通して見ていただくことで、冬休みからのより良い過ごし方の参考にしてください。

☆学校評価アンケートを通して、児童や保護者から学校へ

アンケートの記入や提出にご協力いただきありがとうございました。肯定的数値（AとB）の割合を見たところ、ほとんどの項目が8割以上（その中でも半数は9割以上）という高評価をいただくことができました。児童用のアンケートでも同様の評価を得ることができました。高評価を得た項目もそこまでの評価がなかった項目も、更に精進します。具体策については、「めのと新年号」でお伝えします。

高評価だった項目は「明るい雰囲気」「分かりやすい授業」「衛生・健康に関する教育」「安全」「育友会や地域との連携」で、児童と保護者の両方が9割を大きく超える高評価でした。校長として常に声を大にして公言するとともに、学校経営の根幹に関わることとして職員一丸となって頑張っていることを実感していただいていることを大変嬉しく思います。

全項目の中で、唯一、7割を切った評価が、保護者による「家庭学習」についての評価でした。児童は8割5分ほどの子が「やれている」と感じているので、意識や感じ方のズレがあるようです。「ルールやマナー」「早寝・早起き・朝御飯」など『家庭教育』についての項目はやや低めでしたので、それらについて裏面にて補足をします。

○「家庭教育」「家庭学習」について



家庭で行う学習は一般的に「宿題」と呼ばれることが多く、1900年代始めの頃からあったようです。当初は、内容は反復練習等、知識・理解の定着が主で、「勉強しない我が子を、学校（教師）という威厳によって机に向かわせる」意図があったと思われます。この時代は、学校側、家庭側双方のニーズが一致していたのですが、現代は価値観が多様化したためか、学校が宿題を出しても子供が机に向かわないこともありますし、「宿題」に異議を唱えられることもあります。

実は、かなり以前から、国や県・市などからの文書には「宿題」という文言はほとんど使われず、「家庭学習」という語句になっています。基本的に、家庭での学習は学校での学習の残りをを行うわけではありません。その子が高める『学習』は、学校ではカリキュラムに沿って、または個に応じて「この部分をこれだけ」と決めて行っていますし、家庭でもその子に応じた学び（教育）が行われなければなりません。但し、家庭での教科的な学習に関しては、「何をどれくらいさせればよいかわからない」という御意見が多いことから教師が学習の仕方や意欲付けをアドバイスしていますが、このような「家庭教育」の範疇で行われる学習を「家庭学習」という語句で表現しています。

特に週休日や長期休業中は登校がないことから、家庭の教育力が試されます。家庭学習は我が子の学習や成長の様子を肌で感じる時間であり、それを指導するチャンスです。とは言え、保護者の皆様も一緒に勉強をする時間がとればそれがベストでしょうが、仕事などで多用で、それはなかなか難しい場合もあるでしょう。その場合でも丸付けをしたり、それもできない場合は高学年であれば全てを子供が行った後に目を通したりして、またそれらの後に一筆添えたり一言褒めたりしてほしいものです。「手をかける」ことが難しくても、「目」や「声」をかけてあげてください。

学力が高まり、親に認められた子供は、やがて個々の学力や興味・関心の度合いにあったことを自主的、自発的に行うようになります。それが『主体性』へと育ち、『主体的に学習を進める』ことで学力が身に付き、身に付いた学力とその考え方で『主体的に未来を切り拓く』ことへとつながっていきます。
「ルールやマナー」「生活習慣」も学力と同様です。これらの活動相互によって、『自らの夢や目標達成』をする子供が育ちます。共に、そういう子供、そういう人を育てていきましょう。

長期の休み以外も、家庭における教育や学習の主体は家庭にあります。教育と堅苦しく考えなくても、子供とコミュニケーションをとることは重要です。「我が子をより良くするため」「我が子を幸せにするため」、年末年始や冬休みという機会を大いに活用してください。

～ 行事予定 ～



- 1日(日) 祝元日
- 2日(月) 振替休日
- 9日(月) 祝 成人の日
- 10日(火) 第3学期始業式 全学年年11:35 下校 (給食なし下校)
- 12日(木) フッ化物洗口、委員会活動(5・6年・6校時目) 1-4年14:40 下校
- 15日(日) 家庭の日
- 18日(水) SC能瀬先生来校
- 19日(木) クラブ活動(4-6年・6校時目) 1-3年14:40 下校
- 24日(火) 児童集会 (給食集会)
- 26日(木) フッ化物洗口 全学年14:40 下校
- 31日(火) 全校集会

～2・3月の主な行事～

- 2月 1日(水) 新1年入学説明会 (保護者対象)
- 3月16日(木) 卒業式
- 3月24日(金) 修了式、離任式

～ 3学期の授業参観・懇談 ～

- 2月20日(月) 授業参観・懇談《4年》
(二分の一人成人式)
- 2月21日(火) 授業参観・懇談《1・2年》
- 2月22日(水) 授業参観・懇談《3・5年》
- 2月27日(月) 授業参観・懇談《6年》